

1日10tの生ごみをシマミミズで処理している事例（広島市佐伯区）

ミミズコンポスト

ミミズ畑(床)



4m×100m 3連
日量 3~4m³ 処理可能

破砕機



食品残渣を土に戻りやすくする為細かく破砕します

ミミズ



ミキサー車



破砕した食品残渣を畑に散布します

排水留



作業等の清掃時の汚水を外部に流出させない為の排水留です。汚水はモーターによってミミズ畑に散布します。

パイオトイレ



従業員及び来客の為のトイレです。尿尿をバイオで分解し、きれいな水を再びタンクに戻すリサイクル水洗トイレです。排水は一滴も出ません。

不燃物処理機



食品残渣に混入されたナイロン・プラスチック等を高温蒸気によって溶解し、体積をおよそ40~50分の1に凝固します。

さらに凝固した不燃物を砂状に破砕しコンクリート等に混ぜ路材・骨材等に再利用します。

ミミズを活用した食品残渣リサイクル処理方法

一般的にシマミミズと呼ばれているミミズ（魚釣り等の時に利用するミミズ）を活用します。

シマミミズは1日に自分の体重分（約1g）の食品残渣を消化しますが、ミミズが生息するための住居が必要となります。私どもではこれを「ミミズの床」と表現しております。

1日約10kgの食品残渣をミミズが消化するためには、10kgのミミズと約2～3㎡（厚さ40cm）の床が必要となります。

ミミズには歯がありません。床の中で食品残渣が腐敗し土にもどる前後にそれを食べ、栄養を取り込み糞をします。

ミミズの糞は大変優良な肥料または土壌改良剤ですので、農家やガーデニング愛好家等に販売できます。

ミミズの消化する食品残渣は、前述しました様に「土に戻るのが早い程、消化速度が速い」ため、食品残渣によって異なります。

ミミズによる生ゴミリサイクル処理のメリット

設備等の処理費が従来の焼却より格段に安い

焼却後の灰の運搬、埋め立て等がない

焼却ではないのでCO₂が発生しない

石油等の資源、エネルギーを消費しない

ミミズの糞が優秀な堆肥としてリサイクルできる

畑、花壇等に肥料として利用し、安全な有機野菜等を栽培する

他の処理方法（バイオ等を利用した機械処理）と違い、電気代・バイオ菌交換等のランニングコストがかからない

等々

◆ ミミズによるリサイクル処理なら・・・

